

幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども	自分で考え行動できる子ども	元気に活動するたくましい子ども
-------------	---------------	-----------------

1、本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- | |
|---|
| ① 教員の資質向上のための工夫。(研究を深める。)
② 当園の教育など、外部へのアピール方法の工夫。(インスタグラム・HPの活用、新聞掲載依頼)
③ 保護者との連携の工夫。(連絡アプリ：アンケートやおうちえんの活用。Gメールの活用)
④ 地域との関わりの工夫。(小学校連携、中学校や浜松聖星高校との交流、地域との関わり、子育て支援) |
|---|

2、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理 由	学校関係者評価
1	保育の計画性	A	行事や日々の保育について、子どもたちの育ちや興味関心を考えながらねらいを明確にし、職員間で考え話し合いながら工夫した。	A
2	保育のあり方 幼児への対応	B	子どもたちが主体的にあそびに関わることができるよう、言葉がけの工夫をした。臨床心理士の力を借りながら、一人ひとり丁寧にに関わり、必要に応じて情報を共有し、職員皆で対応した。	A
3	教師としての資質、能力、 良識、適正	B	若い保育者の指導を丁寧にしながら、日々の保育を振り返る時間を持ち、チームワークを大切にしてきた。職員が話しやすい雰囲気作りにも気を配った。職員が積極的に研修会に参加できる機会も大切にした。	B
4	保護者への対応	B	おうちえんを活用して、子どもたちの様子を保護者の方に伝えた。Gメールも活用し、保護者の方がいつでも連絡できるよう工夫した。また、保護者が園に出向いた時には、職員から声をかける、必要に応じて面談を行うなど、保護者の方とのコミュニケーションを大切にした。	A
5	地域の自然や社会との かかわり	B	意見交換や授業参観など、小学校との連携の機会を設けた。また、同学院の浜松聖星高校の保育体験や行事参加などの機会を大切にした。今年度から自治会の行事にも参加させていただいた。	A
6	研修と研究	A	今年度も、思考と育ち合いをねらいとし、園内研修をしながらごっこあそびを行った。ごっこあそび参観を実施し、保護者の方、他園の先生や自治会の方などにもご覧いただき意見をいただいた。	A
7	外部アンケート	A	年間を通して、行事を行う時には保護者の方に丁寧に子どもの育ちやねらいを伝え、アプリでアンケートを実施した。全体として、子どもたちの成長が見られた、職員が丁寧に子どもたちに関わっている姿が見られたという意見を多くいただいた。	A

* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分に出ない D 取り組みが不十分

4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

- ・今年度もチーム保育に心がけ、子どもの育ちを皆で支えることを大切に考え一年を過ごした。
- ・職員間での日々の振り返りの時間も大切にし、一人ひとりの様々な気付きが職員の質の向上に繋がるよう意識した。
- ・HPやInstagramを活用し、園で大切にしていること、それによって育つ子どもの姿などを積極的に外部に発信した。
- ・保護者との関係も、子どもの様子を伝える時、全ての保護者の方に偏りなく伝えられるよう気を配った。保護者の方にとって、いつでも連絡できるGメールは利用しやすさがあった。
- ・浜松聖星高校との交流（保育体験、サッカー部との触れ合い、行事の手伝い）は、子どもたちにとっても生徒さんにとっても良いものとなった。
- ・今年度から、自治会の行事に年長児が参加したり、自治会の方に保育の様子をご覧いただいたりする機会を設けた。
- ・子育て支援としてのつぼみっこ、こひつじサークルに加え、今年度の浜松市の試行事業「誰でも通園制度」を実施した。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教員の質の向上（教育）	・チーム保育を大切にしながら、職場の良い雰囲気作りに努める。また、チーム保育が、若い先生の安心感と質の向上に繋がり、それが保護者の方の園に対する安心感に繋がるよう心掛けていく。 ・思考と育ちあいをねらいとして、日々の保育や行事について、研修したり話し合ったりしながら保育や行事の工夫をしていく。 ・ITを利用して、職場環境の改善にも引き続き取り組んでいく。
地域との関わりと地域としての園の役割 （子育て支援・連携）	・今後も小学校との接続教育を意識しながら、小学校との意見交換や参観の場を大切に考えていきたい。 ・浜松聖星高校との交流は当園の特色として位置づけ、交流の工夫をしながら充実させていきたい。 ・子育て支援については、今後も、ねらいに対して内容を工夫し多くの方に利用していただけるようにしたい。誰でも通園制度については、園としても情報を発信し、地域の子育て支援の場として機能していけるよう整えていく。

6、学校関係者評価委員からのコメント

- ・浜松聖星高校との交流は、同じ学院ということで交流もしやすいと思う。生徒さんも積極的に子どもたちと関わろうとしてくれて、とても優しかった。子どもたちもとても嬉しそうだった。とても良い関係ができていて、交流の機会を続けていってほしい。
- ・PTA役員をし、園と連携をとる中で、先生たちがどんな想いで園の活動に取り組んでいたのかがわかって良かった。同時に、自分自身の育児レベルが上がったと感じた。園の教育の視点も伝わってきて良かった。